

夏休みは子どものチャンス！

船引小学校長 安生昌弘

今日は夏休み前の授業が終わる、締めくくりの日ですね。4月の入学式、始業式から何日、学校の日があったでしょうか。実は74日間なのです。毎日の45分間の授業に加えて、学校行事や体験活動をしてきましたね。1年生を迎える会、交通教室、避難訓練、学年ごとの見学学習や校外学習、宿泊学習などもありましたね。振り返ると、74日間の積み重ねってすごい事だと思いませんか。

さて、明日から29日間の長い夏休みが始まります。楽しみだね。考えてみると、土曜日や日曜日も入れるけれど、休み前74日間の半分近くの日数が夏休みの期間なのです。やる気のある人が何かを積み重ねると、夏休みには、きっとすごい事ができるような気がしますよね。そうです。夏休みは、みんなにとって『チャンス』なのです。

まず第一には、学校の授業はお休みですから、新しい学習が進められるという事はありません。よく身に付いていない学習をやり直したり、学習した事を確かめたりすれば、休み明けの学習をすらすら出来るようになります。つまり、学習がちょっと皆より遅れたなど感じている人は追い付く「チャンス」です。

第二には、長い夏休みにはしか出来ない学習に取り組む事が出来ます。長い時間をかけて生き物とか草花をじっくり観察する事や理科の自由研究に挑戦する事、普段よりも長い作文に取り組む事、いつもより厚い本を読む事や読書感想文に挑戦する事などです。つまり、普段「やらされているなあ」と感じている学習に対して自分から挑戦して見返してやる「チャンス」です。

第三には、家族のためになる家庭の仕事を、学校がある日より多くする事ができます。そうすると、家族に喜んでもらう事ができ、家庭を幸せにする役割を果たす事ができます。つまり、お手伝いではなく家庭の仕事の一つを任せてもらう家事の分担をするのです。学級で配る『夏休みのすごし方』というプリントにも「お手伝いをしましょう」ではなくて、「家の仕事をしましょう」となっているはずです。食器の片づけでもお風呂掃除でも良いので心を込めてやりましょう。仕事の事を英語でJobと言いますが、家の人にGood Job(いい仕事してますねえ)と言われるかも知れませんよ。つまり、家族に認めてもらえる「チャンス」です。どうですか？ 夏休みには、たくさんの『チャンス』があるでしょう。



私は小学校5年生の時の夏休みの自由研究で、アサガオの花が咲く瞬間を連続写真で撮ってやるぞと挑戦しました。朝6時に起きました。もうアサガオは咲いていました。次の日は5時に起きました。アサガオは咲いていました。次の日は4時に起きました。それでもアサガオは咲いていました。でも、完全には開いていませんでした。アサガオとの早起き競争になりました。寝坊したり見ている間に居眠りしてしまったりと失敗もあったので10日以上経ったある



朝、3時半に起きて見ていると、4時前の暗いうちに、あのドリルのような蕾(つぼみ)が微(かす)かに動き始め、翼を広げるように微かな「シュッ」という音と共に花が開いたのです。とても感動しました。シャッターを押すのも忘れるほどでした。アサガオの花が咲く時に音がするなんて、どの図鑑にも載っていませんでした。もしかすると私の気のせいだったのかも知れません。しかし、アサガオの花の咲く瞬間を見た時の胸のドキドキが今も忘れられません。そして、何より大人になっても夏休みに挑戦した自由研究をこうして覚えているのです。自分で考えて挑戦し苦労して体験した事なので、自分の身に付いたのだと思います。

さあ、明日からの夏休み、チャンスを生かすかどうかは自分次第です。3つのチャンス「学習」「挑戦」「家庭の仕事(Job)」を是非生かして下さい。